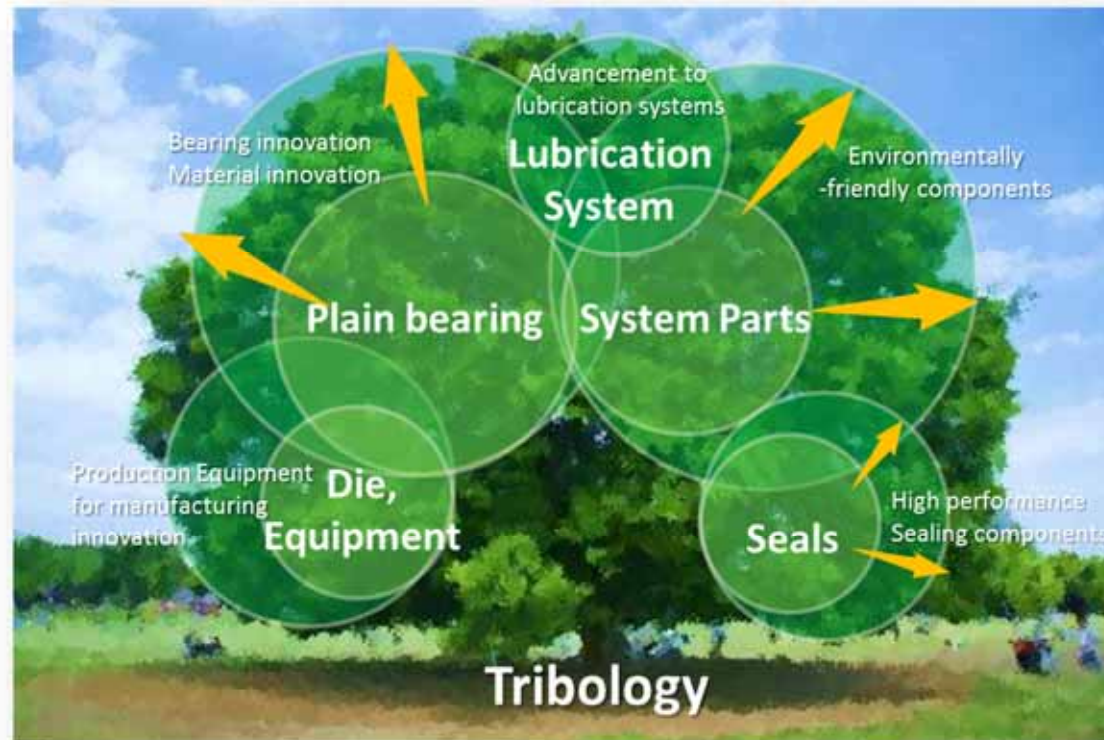


2017年3月期 決算説明会

2017年5月30日



 大豊工業株式会社

将来見通しに関する注意事項

このプレゼンテーション資料に記載されている当社業績見通しは、現時点で把握している情報に基づき、当社が判断したものです。実際の業績は、今後の経済動向、市場の需要、為替レートの変動、税制や諸制度など、様々なリスクや不確定要素に左右されます。従いまして、実際の当社業績は見通しと異なる結果になる場合があることを、あらかじめご了承ください。

投資に関する最終決定は、上記の点を踏まえ、投資家の皆様ご自身の判断で行われるようお願いいたします。

当プレゼンテーション資料に掲載された情報に全面的に依拠して投資判断を下されることはお控えくださいますようお願いいたします。

目次

1 . 2017年3月期 実績

2 . 2018年3月期 予測

3 . 将来への取組み

2017年3月期 決算の概況 < 連結 >

(単位:億円 以下切り捨て)

	前期実績比				公表値比('17/2修正値)			これまでの 最高業績
	17/3期 実績	16/3期 実績	増減	増減率	17/3期 公表値	増減	増減率	
売上高	1,089	1,072	16	1.6%	1,082	7	0.6%	1,088 ('09/3期)
営業利益	63	66	2	4.1%	63	0	0.1%	66 ('16/3期)
経常利益	62	62	0	0.5%	62	0	0.4%	62 ('16/3期)
親会社株主に 帰属する 当期純利益	44	37	6	18.1%	39	5	14.2%	37 ('16/3期)
為替レート	108円/\$ 119円/€	119円/\$ 132円/€	11円/\$ 13円/€	-	108円/\$ 116円/€	0円/\$ 3円/€	-	

**売上高、純利益は過去最高
営業利益、経常利益 前期比減**

2017年3月期 決算の概要

【売上高】 1,089億円（前期比 +16億円、1.6%増）

< 増収要因 >

- ・タイのIMV用新型ディーゼルエンジンで採用されたバキュームポンプ、ヘッドガスケットにより増
- ・北米での樹脂コーティング付き軸受の受注増 等

< 減収要因 >

- ・円高による売上高の減

【経常利益】 62億円（前期比 0.3億円、0.5%減）

< 増益要因 >

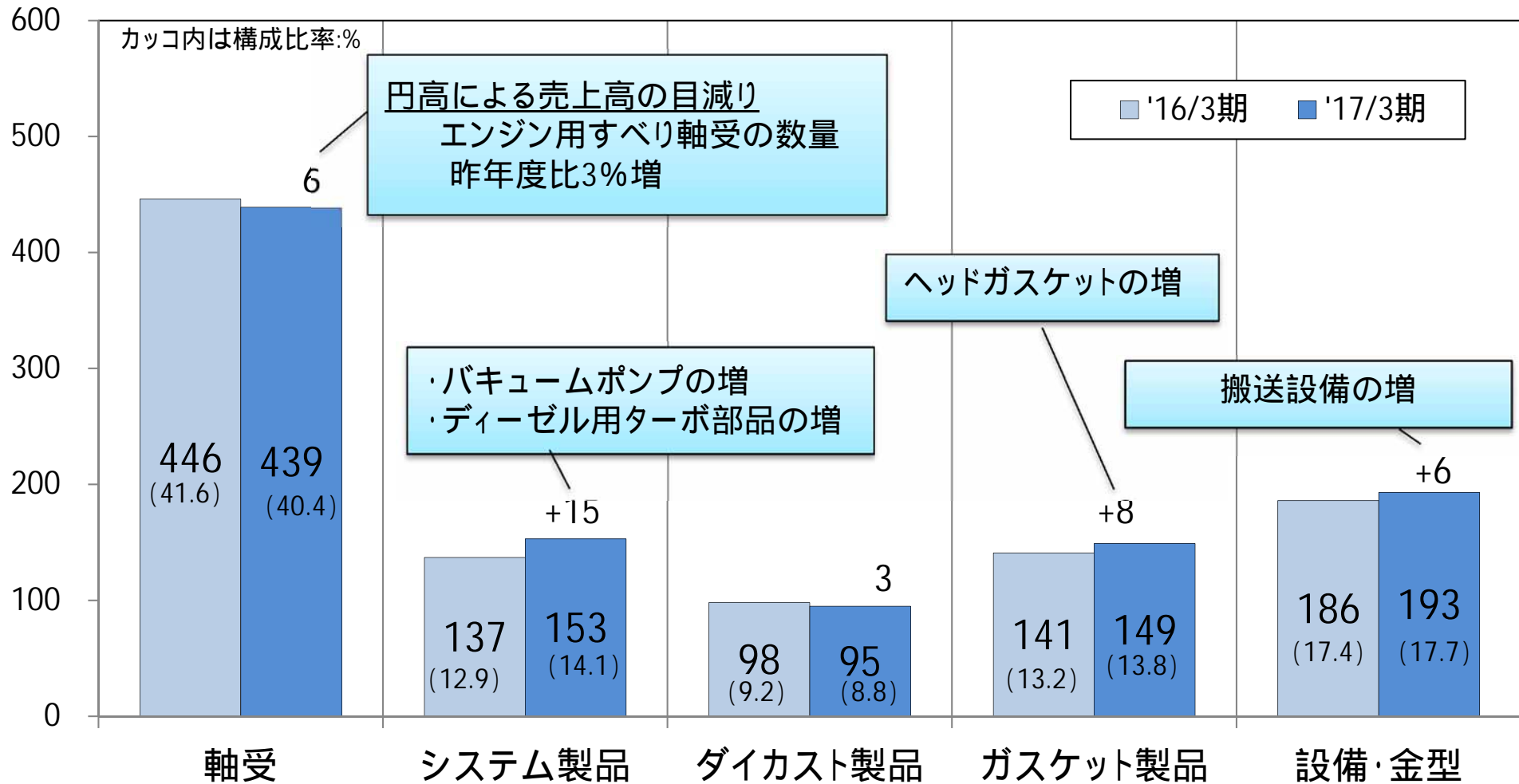
新製品による売上増、合理化努力

< 減益要因 >

ビジネス拡大による労務費、経費の増、円高による利益減

2017年3月期 製品別売上高 < 連結 >

(億円)

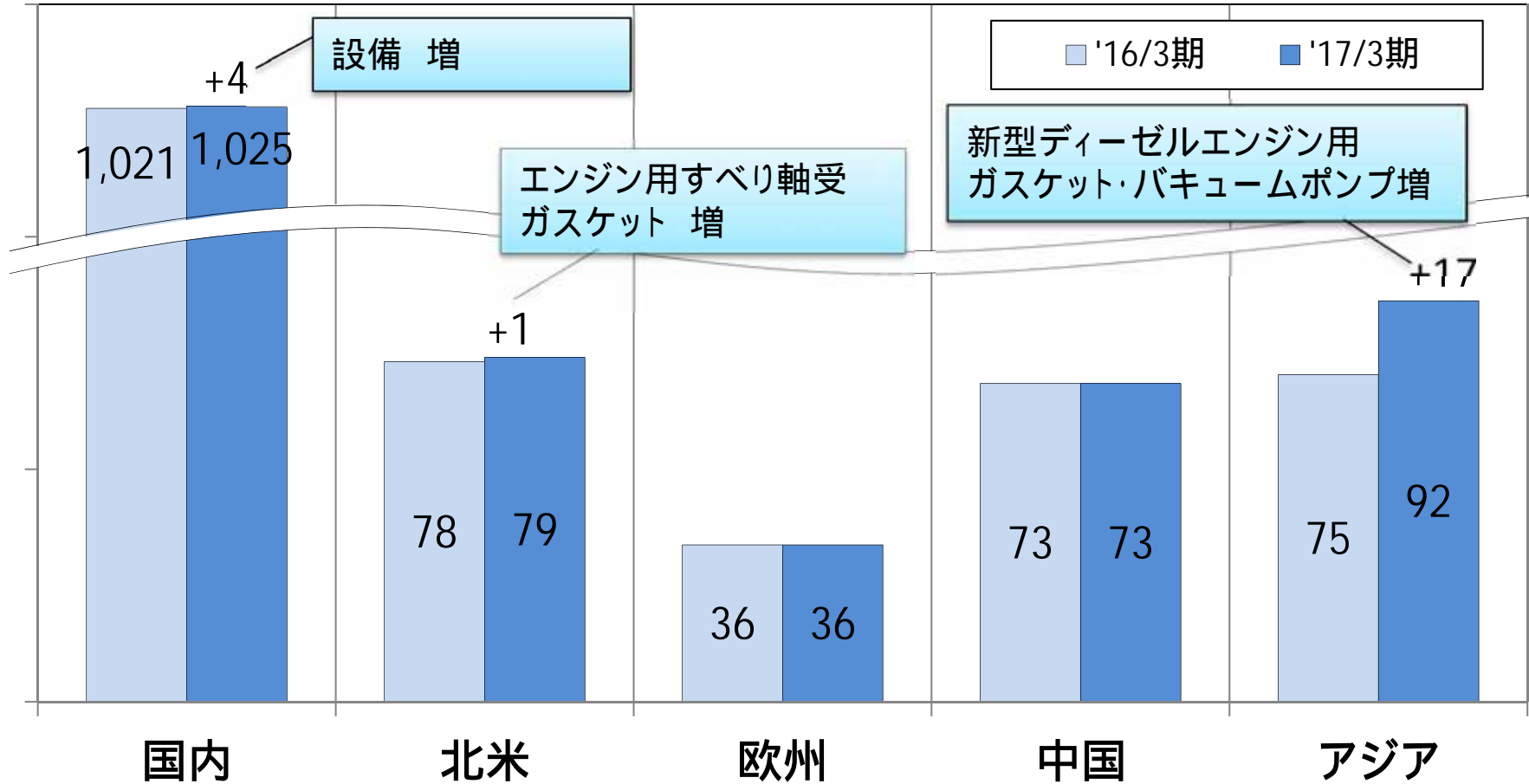


システム製品(バキュームポンプ)およびガスケット製品、
自動車用搬送設備の増

2017年3月期 地域別売上高 < 連結消去前 >

(億円)

1,200



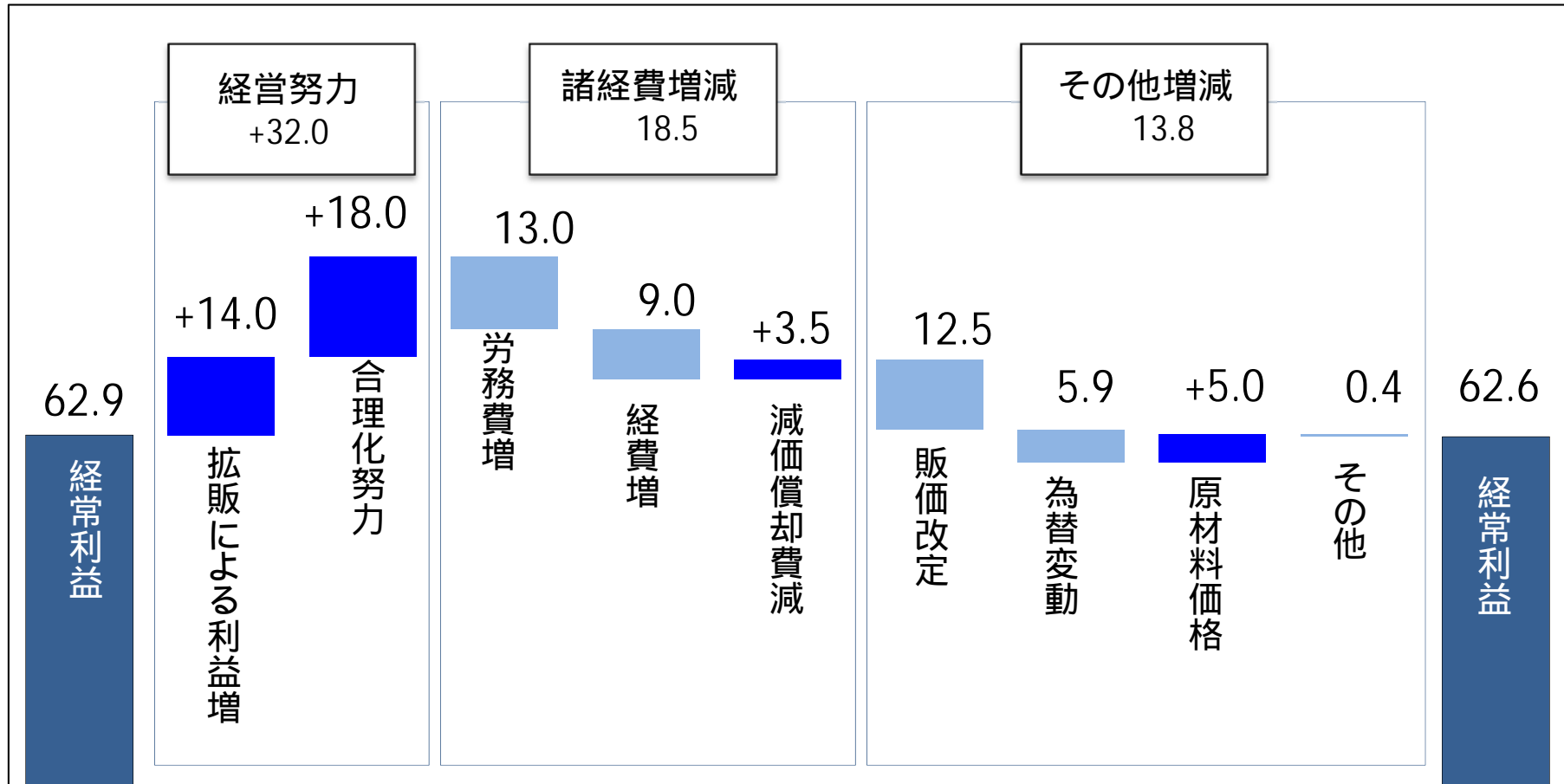
・北米で樹脂コーティング付き軸受およびガスケット増

(円高の影響で売上高 微増に留まる)

・タイでディーゼルエンジン用バキュームポンプ、ガスケットの増

経常利益増減要因(前期比) < 連結 >

(億円)



16/3期

0.3億円 減益

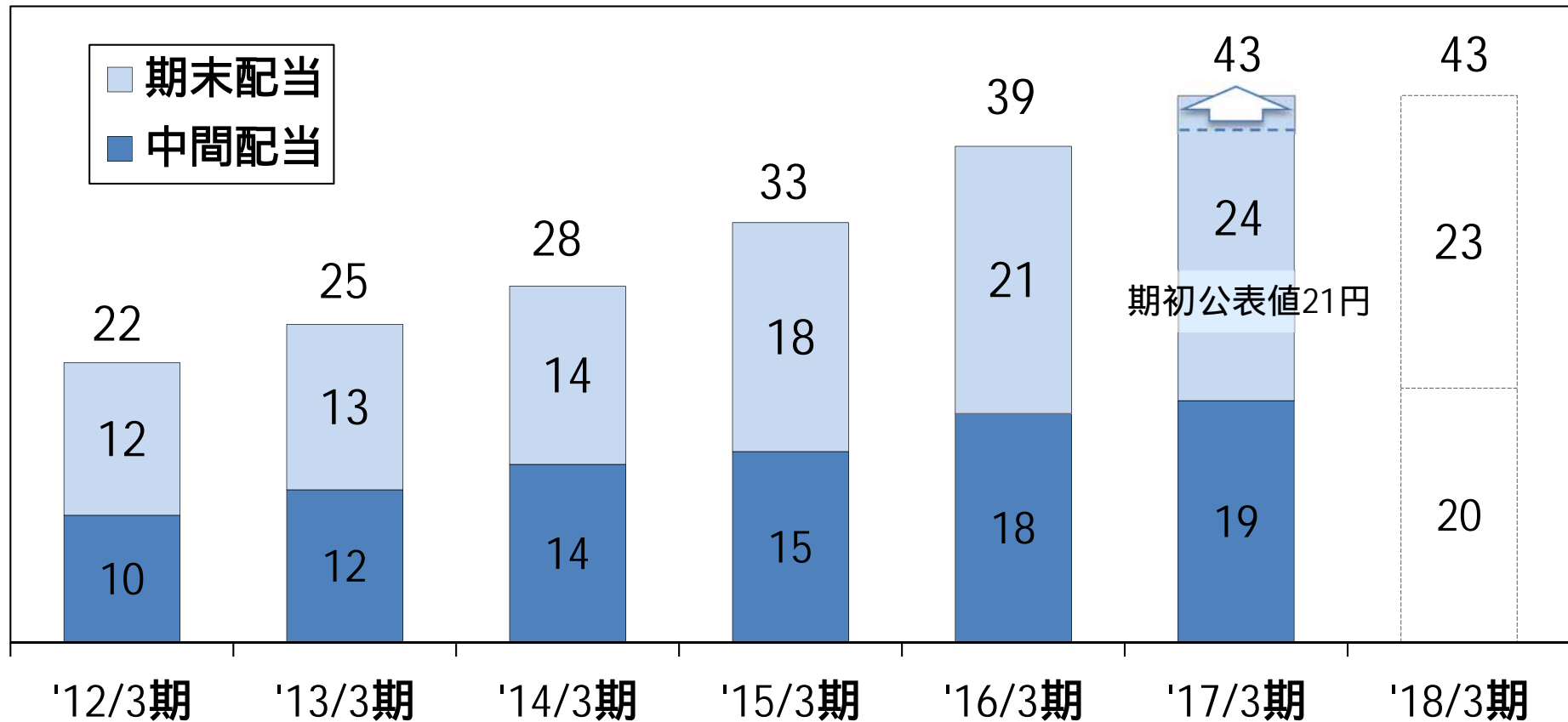
'17/3期

合理化努力、拡販により増益したが、
新製品立上げに伴う労務費・経費の増を吸収できず減益

株主還元

1 株当たり配当の推移

(円/株)



当期純利益増により、期末配当を21円から24円へ増配。
連結配当性向30%をベースに、長期安定的な配当を目指す

1 . 2017年3月期 実績

2 . 2018年3月期 予測

3 . 将来への取組み

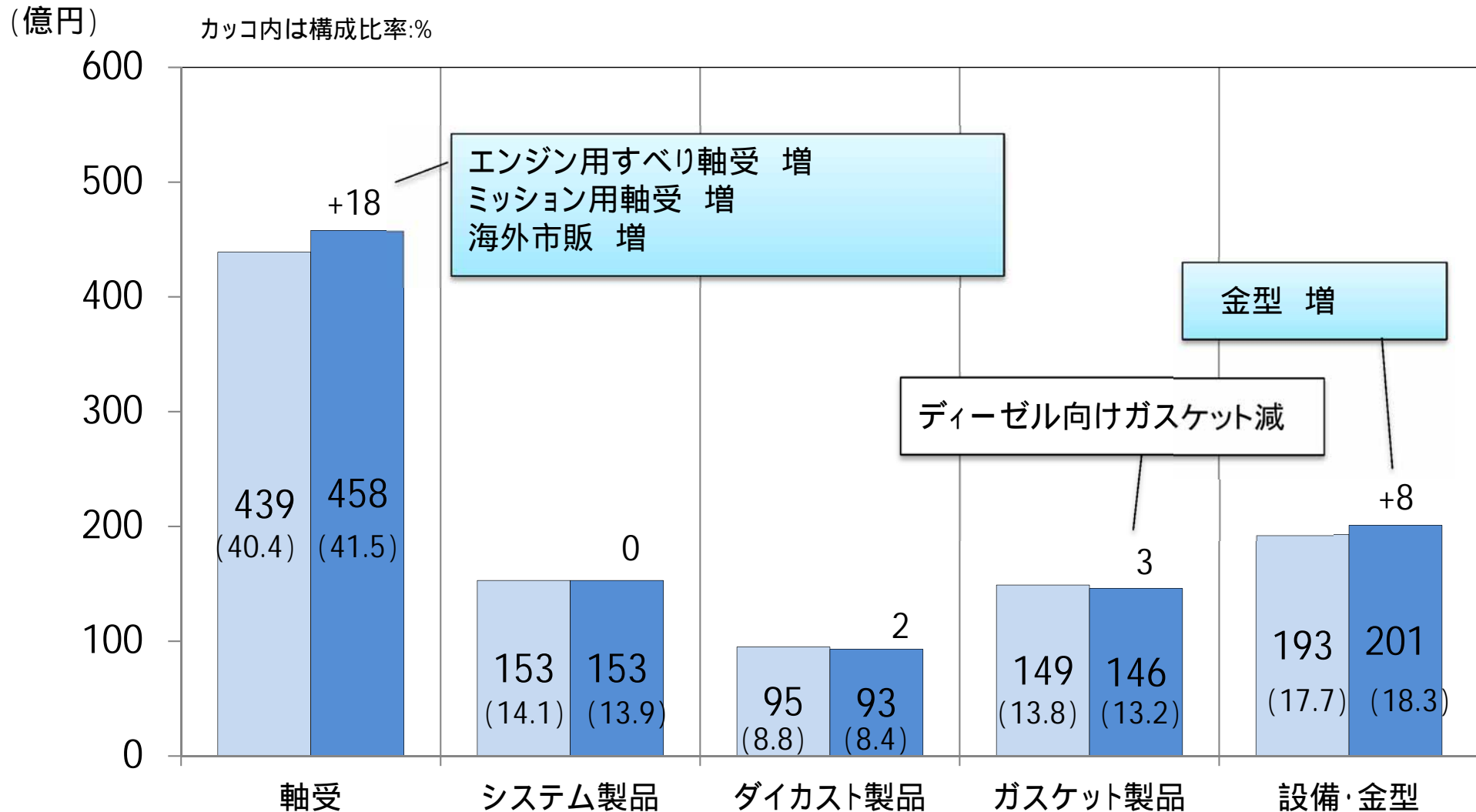
2018年3月期 通期業績予想 < 連結 >

(単位:億円 以下切り捨て)

	通期予想 前期比			
	18/3期 通期予想	17/3期 実績	増減	増減率
売上高	1,100	1,089	10.4	1.0%
営業利益	61	63	2.5	4.0%
経常利益	60	62	2.6	4.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	40	44	4.5	10.2%
為替レート	105円/\$ 115円/€	108円/\$ 119円/€	-	-

売上高は増収を見込むが、円高の影響等により減益を予想

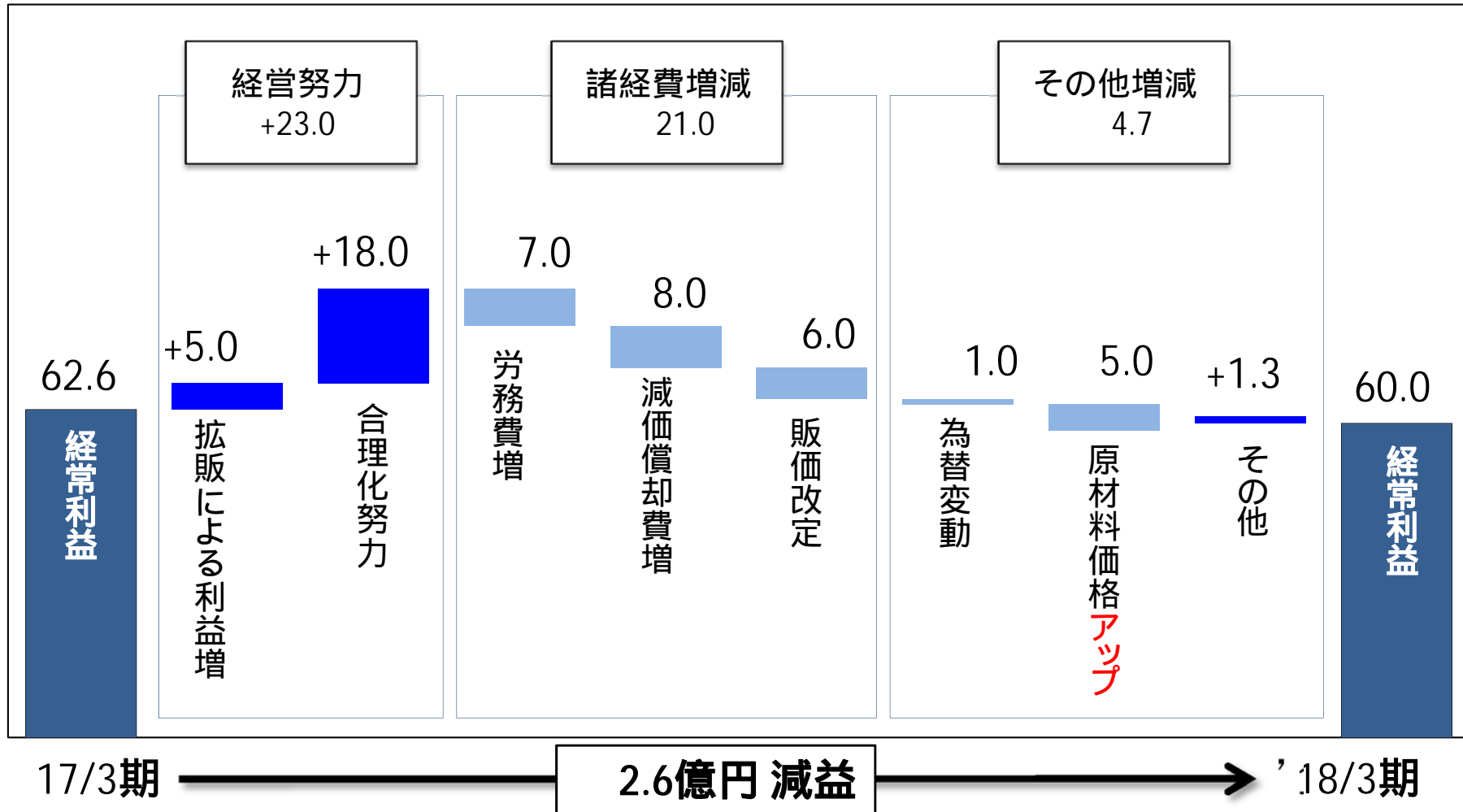
2018年3月期 製品別売上高予測 < 連結 >



軸受製品でエンジン用すべり軸受 受注拡大(主に中国)
また、ミッション用軸受、海外市販も売上増

経常利益増減予想(前期比) < 連結 >

(億円)



拡販・合理化を推し進め増益を図るが、将来に向けた設備投資による減価償却費の増、原材料価格アップ等により、減益を予想

1 . 2017年3月期 実績

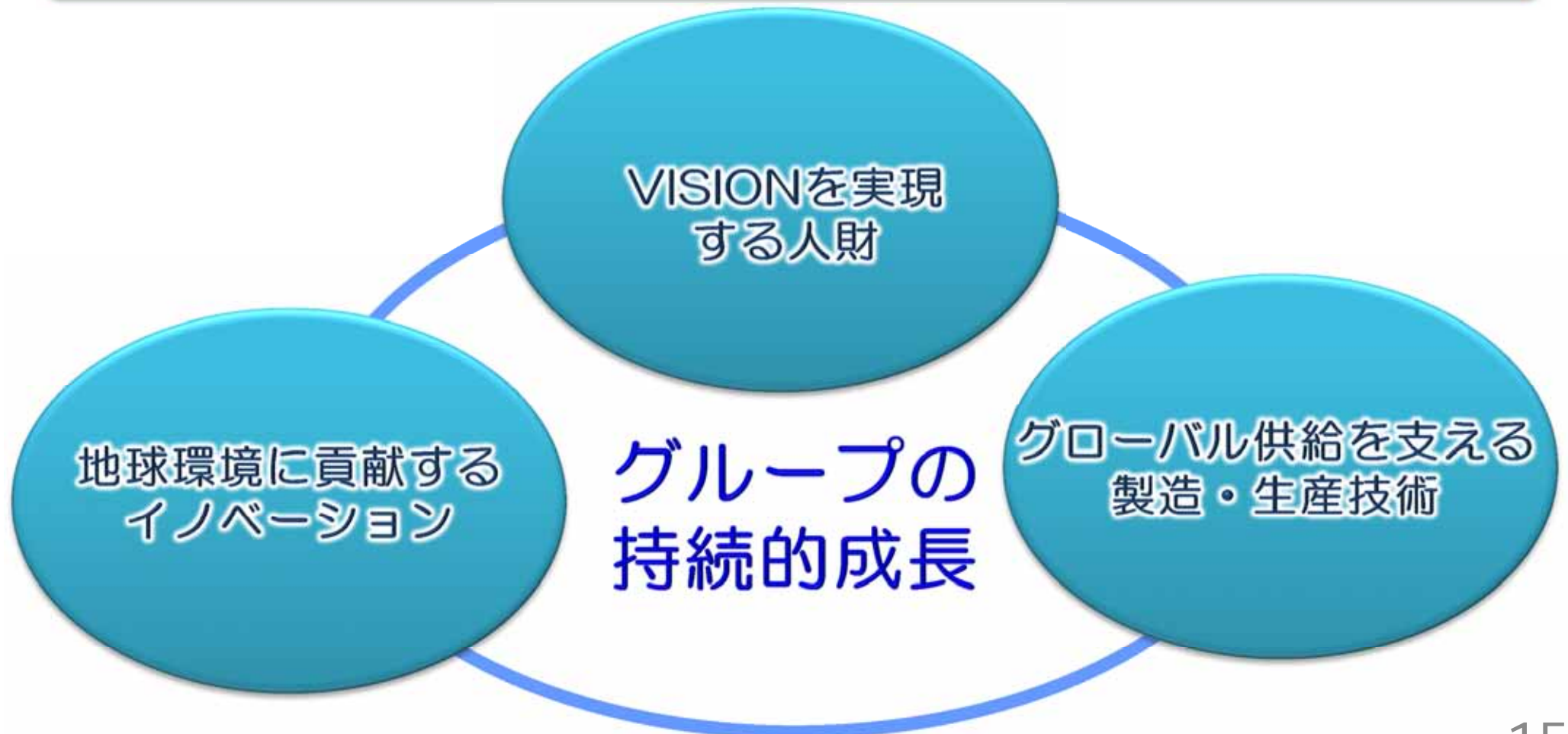
2 . 2018年3月期 予測

3 . 将来への取組み

大豊グループの『VISION2020』

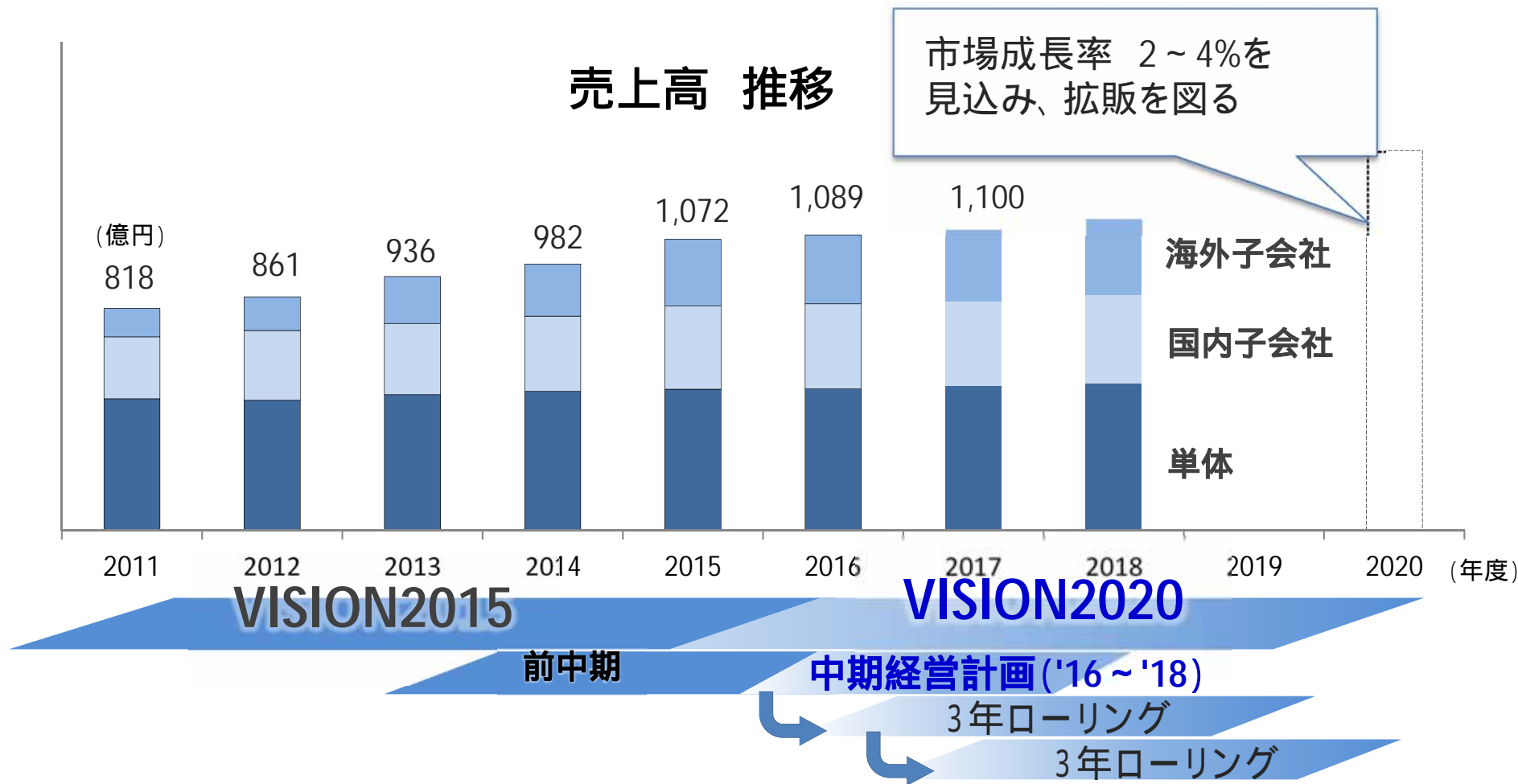
VISION2020 ～地球環境とお客様への貢献～

トライボロジーをコアに、軸受をはじめとした環境に貢献する製品を迅速に生み出し、グローバルにお客様へお届けする



『VISION2020』と『中期経営計画』

2011年度からVISION2015をスタートし、
2015年度に売上高1,000億円台('07年以来)を達成



2016年度から中期経営計画をスタート、VISION2020の実現をめざす。
毎年ローリングしながら市場成長2~4%を見込み、持続的な成長を図っていく。

『VISION2020』の取組み

VISION2020 ~ 地球環境とお客様への貢献 ~

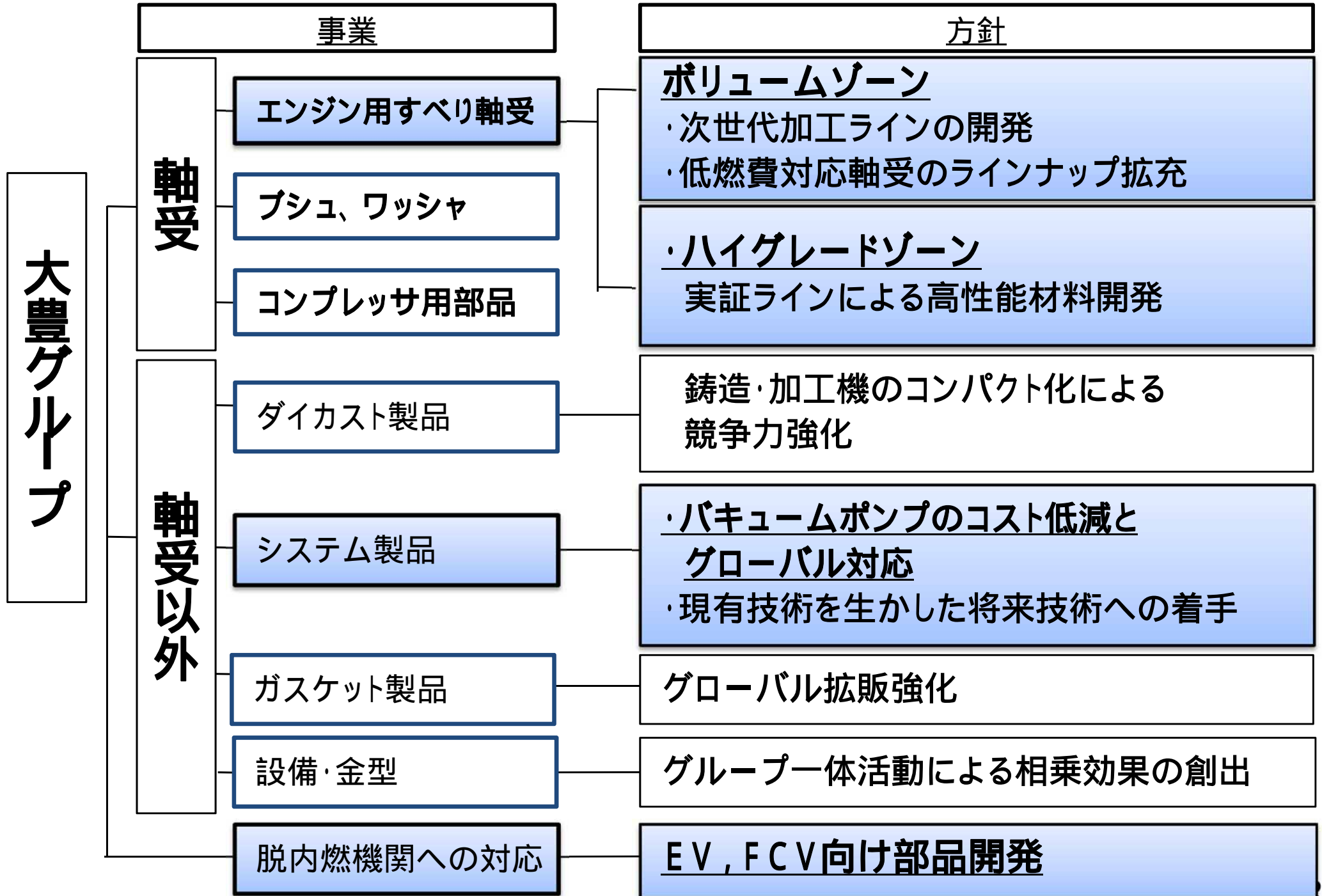


自動車市場の動向に対応した製品開発の取組み

- 高効率エンジン開発への貢献
 - ・ 摩擦損失低減
 - ・ ポンプロス低減 他

- 排出ガス低減への貢献
 - ・ 小型・軽量化への貢献
 - ・ 振動対策の貢献 他

さらなる成長のための事業方針



自動車市場(大衆車)の動向

- ・新興国市場の拡大
- ・現地調達化の促進
- ・良品廉価な小型車戦略



これまでの取組み

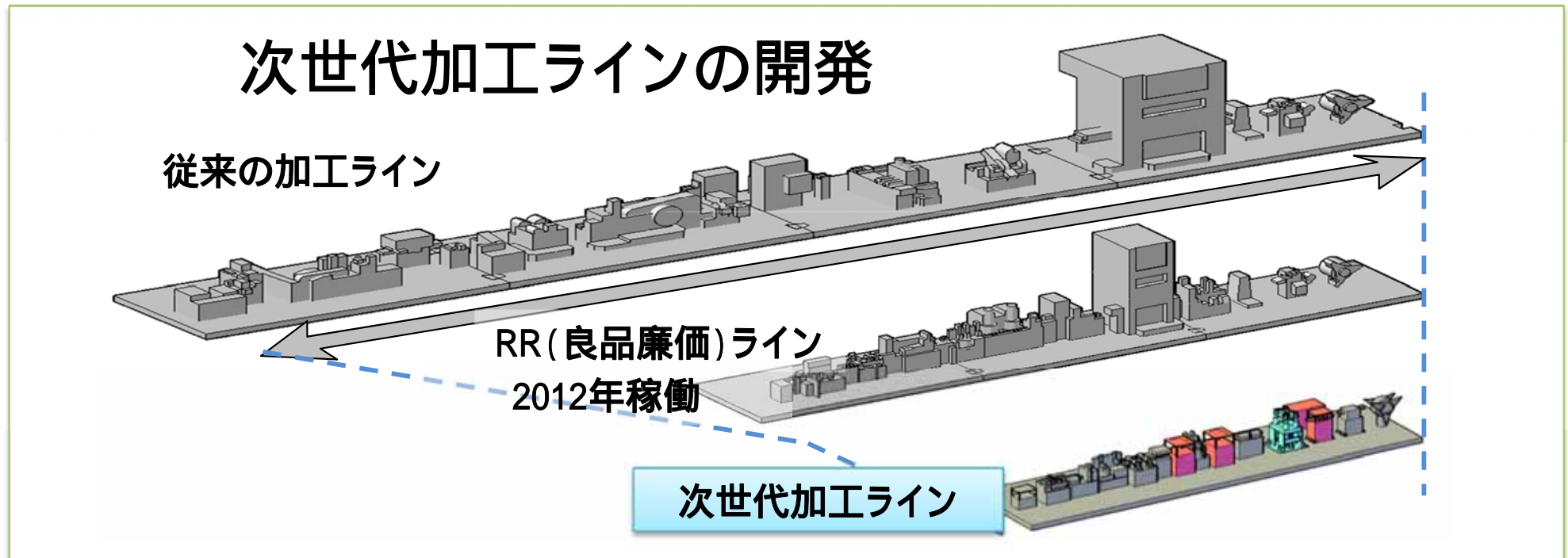
低コスト化対応
グローバル同一品質

- ・RR(良品廉価)加工ラインの開発、海外導入(インドネシア)
- ・樹脂コーティングラインの海外導入(北米、中国)
- ・自動外観検査 等



さらなる競争力強化に向けて、次世代加工ラインの開発に着手
(高効率化、設備投資 低減)

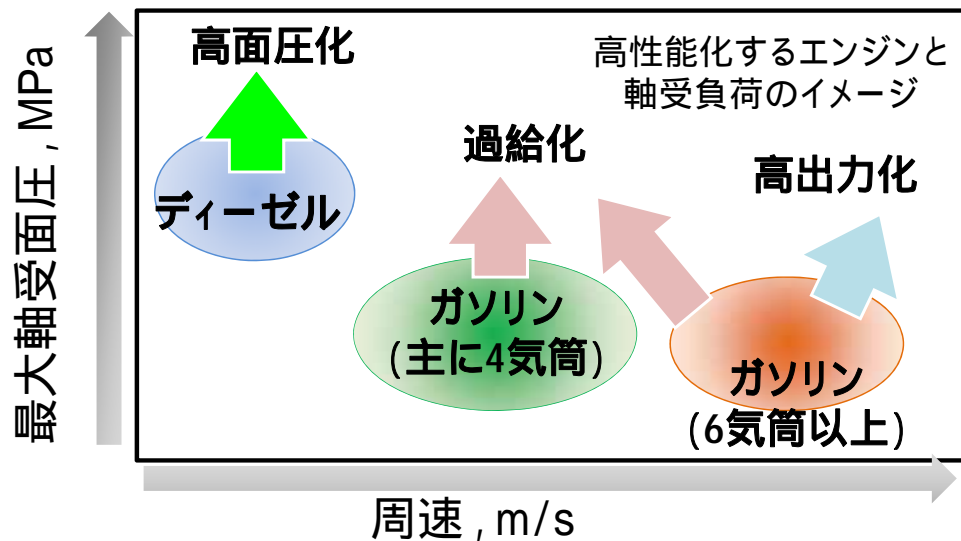
すべり軸受の取組み = ボリュームゾーン =



工法刷新、設備ダウンサイジング化により、
生産性向上と設備投資低減を実現し、
グローバルに展開する。

自動車市場(高級車)の動向

- ・高級車エンジンのさらなる高出力化
- ・エンジンの小型化
V6、V8エンジンが主流の高級車に4気筒エンジンを搭載。
ターボ、HVでトルク、パワーを維持。



他社を凌駕する高性能すべり軸受
の新材料をスピーディに開発

素材実証ラインの着手
(岐阜工場)

システム製品の取組み = バキュームポンプ =

自動車市場の動向

- ・低燃費エンジンの技術競争激化
吸気損失を低減させた低燃費ガソリンエンジン開発



バキュームポンプの採用拡大

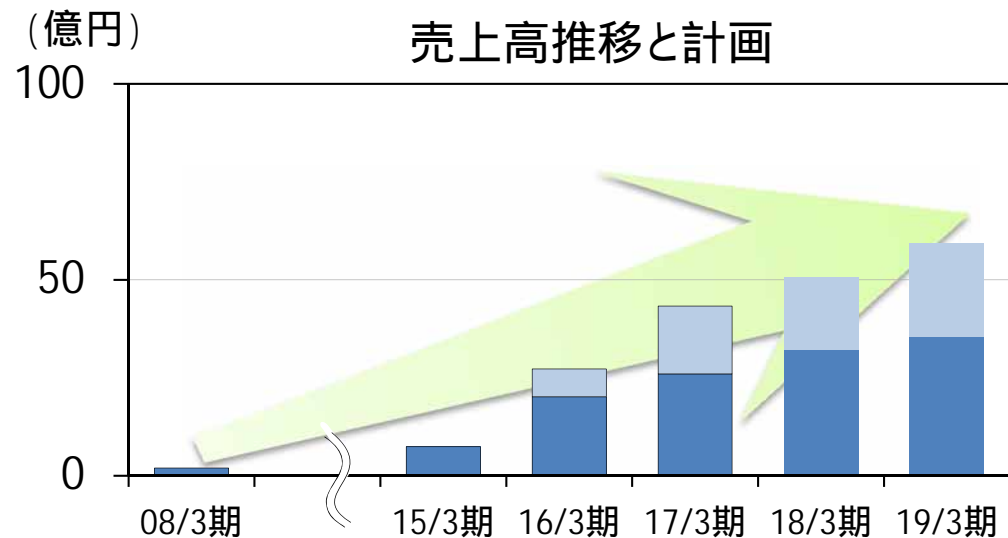
2007年～

- ・連続バルブリフト可変機構
ヴォクシー、ノア、ウィッシュ等

2015年～

- ・過給ダウンサイジング
レクサスNX、クラウン、C-HR等

- ・新型ディーゼルエンジン
ハイラックス、プラド等



ディーゼルは機構上バキュームポンプが必要

2017年～

- ・ガソリンエンジンのさらなる効率化

ガソリンエンジンのさらなる効率化

高効率ガソリンエンジンでは、燃費向上のため吸気損失を低減。

一方で、ブレーキの力を増幅させる倍力装置に必要な吸気負圧が不足する。

ブレーキの倍力装置に必要な負圧を、バキュームポンプで発生させて確保する。

高効率ガソリンエンジンではバキュームポンプの採用が拡大している。

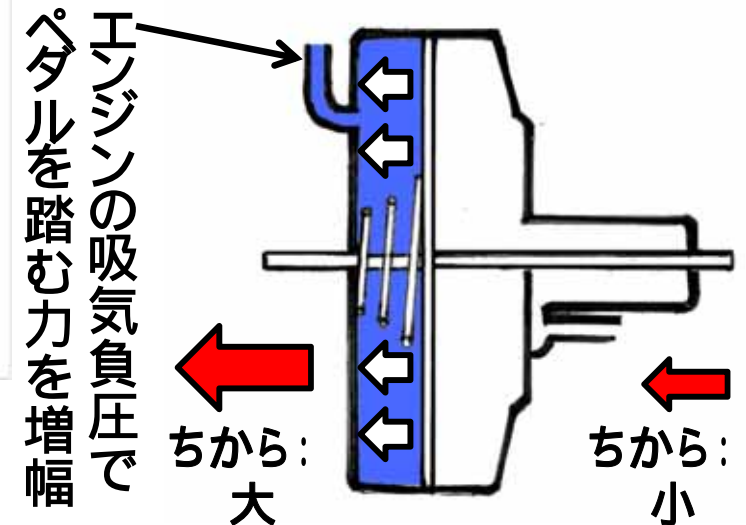


アトキンソンサイクル、EGR等の機構でスロットルを開けたままピストンを下げ無駄な抵抗 (= 吸気損失) を減らす

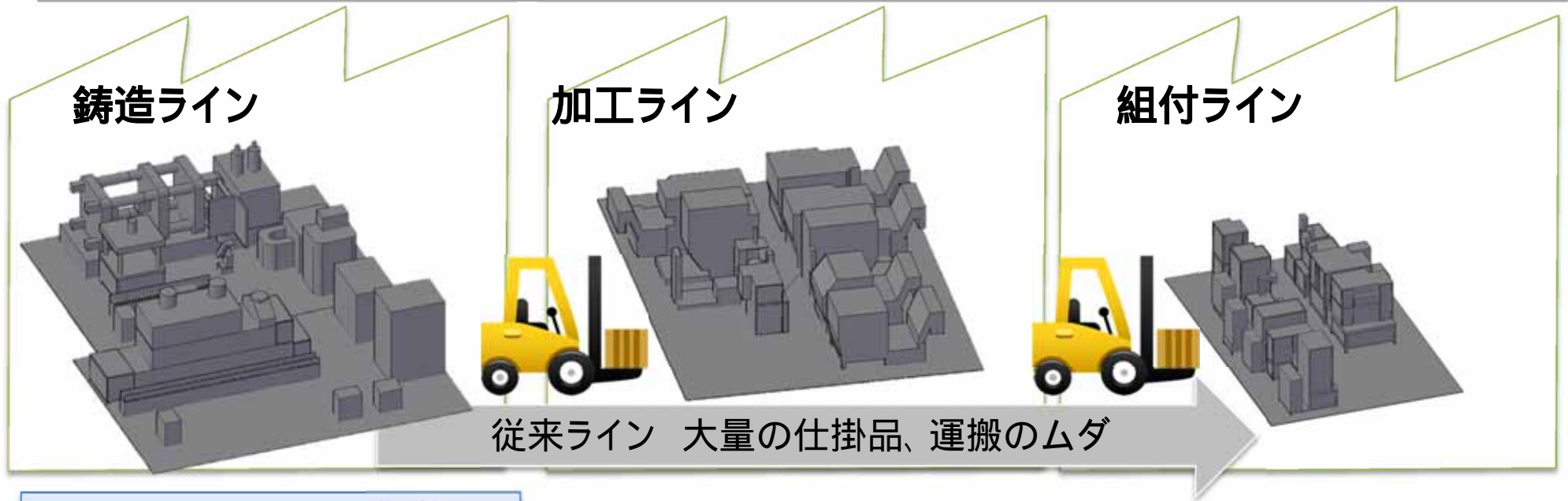
倍力装置



倍力装置の構造



システム製品の取組み = TNGAバキュームポンプ =



大豊岐阜へ集約

コンパクト
鑄造ライン

1個流し

コンパクト
加工ライン

1個流し

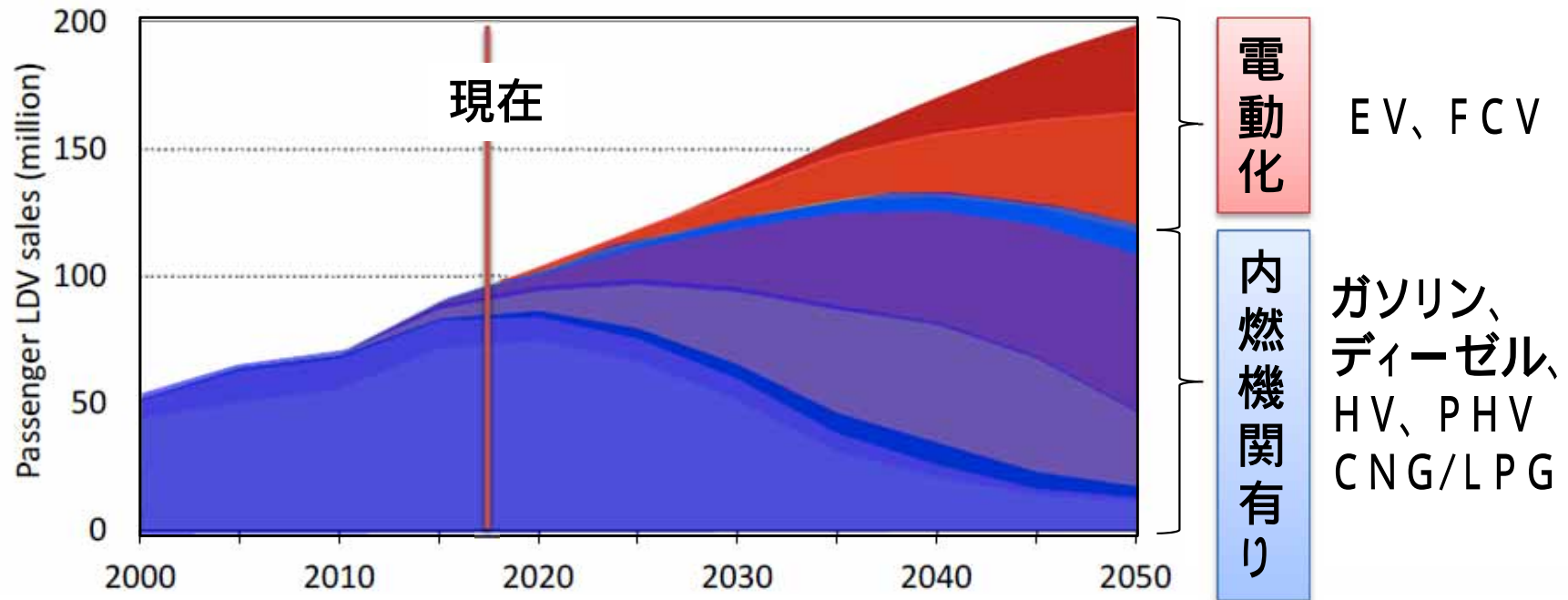
コンパクト
組付ライン

鑄造、加工、組付まで一貫したコンパクト生産ラインの開発着手、投資低減、生産性向上を実現し、グローバル競争力を強化。

脱内燃機関への取組み

自動車市場の動向

- ・ 内燃機関も継続進化し、電動化一辺倒にはならない
- ・ 中国ではEV, PHV普及政策により電動化を加速
- ・ 欧州においても、電動化10年前出しを宣言



【出典】 経済産業省 自動車産業を巡る構造変化とその対応について (2015年11月発行)

各国政策や各メーカーの戦略からEV・FCV市場が拡大。
当社もグループを上げて電動化への対応に着手。

脱内燃機関への取組み

		電動化製品			
		バッテリー	コンバータ	モータ	FCV
大豊グループ コア製品	すべり軸受	樹脂コーティング 圧接	圧接	樹脂コーティング しゅう動材料技術	樹脂コーティング しゅう動材料技術
	コンプレッサ	—	—	—	樹脂コーティング しゅう動材料技術
	システム製品 バルブ、ポンプ、ターボ	—	流体制御技術 熱エネルギー回収	熱マネジメント (冷却)	切替バルブ ソレノイドバルブ ポンプ
	ダイカスト、樹脂	樹脂成形	抄造 薄肉精密鑄造 樹脂成形 薄肉精密鑄造	抄造 軽量化 樹脂成形 薄肉精密鑄造	抄造 スクロール 樹脂成形 薄肉精密鑄造
	ガスケット製品	シール技術 ゴムコーティング	シール技術	シール技術	シール技術 ゴムコーティング

大豊グループのコア技術で電動化に貢献すべく
新領域の開拓を推進

『VISION2020』の取組み

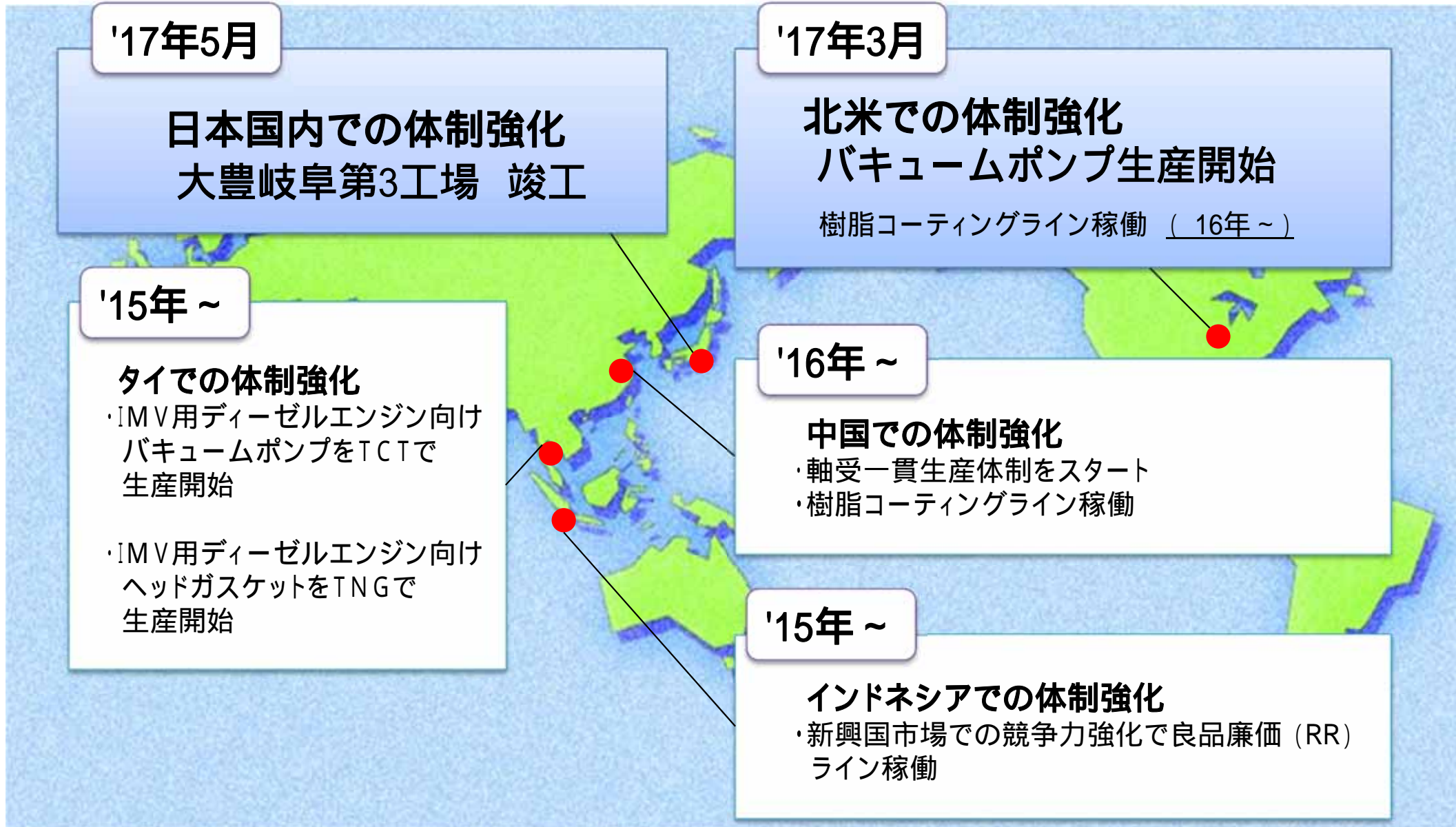
VISION2020 ~ 地球環境とお客様への貢献 ~



グローバル生産拡大の取組み

お客様の現地調達ニーズに応え、
良品廉価な製品を提供する

グローバル生産拡大の取組み



グローバル生産拡大の取組み

大豊岐阜(株) 第3工場竣工(2017年5月)



- ・すべり軸受の新材料開発拠点として新設
- ・将来に向けた部品生産のスペース確保

・大豊岐阜(株)全景

北米(TCA)での生産体制強化(2017年3月)



タイに続き、海外拠点で
バキュームポンプ生産開始

・TNGAバキュームポンプ組付ライン

『VISION2020』の取組み

VISION2020 ~ 地球環境とお客様への貢献 ~



人財力向上の取組み

企業活動を支える従業員の能力向上、モチベーションアップ
大豊グループが持続的成長をしていくための基盤強化

人財力向上の取組み ~ 体系づくり ~

燃える職場・社員総活躍プロジェクトの推進 ~ 教え・教えられる風土の醸成 ~

実現に向けた三本の矢

第一の矢 人財力向上に向けた体系づくり

現場力を支える人財力向上
改善人財の育成
問題解決能力の強化
チームワークの醸成
社員の一体感づくり

現場力を支える人財力向上
元気工場プロジェクト現地点検会



改善人財の育成
スキルアップ制度開校



問題解決能力の強化
管理能力向上プログラム



第二の矢 グローバル生産拡大への対応

チームワークの醸成
グローバルQC大会



社員の一体感づくり
大豊グループ駅伝大会



第三の矢 環境変化に対応した 新しい仕組みづくり

人財力向上の取組み ~ グローバル生産拡大への対応 ~

実現に向けた三本の矢

第一の矢
人財力向上に向けた体系づくり

第二の矢
グローバル生産拡大への対応

海外拠点のマネジメント強化
赴任者教育、ローカル人財力向上
本社各機能のグローバル対応強化
バックアップ体制強化
グローバル視点での仕組みづくり
中国ビジネス推進の体制強化、
自立化推進

第三の矢
環境変化に対応した
新しい仕組みづくり

中国子会社(TCY)

中国の軸受No.1企業をめざし、
設計、営業連携強化をキックオフ(2月)



人財力向上の取組み ~ 環境変化に対応した新しい仕組みづくり ~

実現に向けた三本の矢

第一の矢
人財力向上に向けた体系づくり



第二の矢
グローバル生産拡大への対応



第三の矢
環境変化に対応した
新しい仕組みづくり

少子高齢化に対応する多様な人財の活用

能力開発を支える人事・福利厚生制度



厚生労働省より

“燃える職場・社員総活躍プロジェクト”
の取組みが評価され、

『働きやすく生産性の高い企業・職場表彰』
で大企業部門・職業安定局長賞(優秀賞)
を受賞



プロジェクト推進 社内ポスター

CSR活動の取組み

大豊工業トライボロジー研究財団 第2回国際シンポジウムの開催

大豊工業トライボロジー研究財団と共催で、トライボロジー研究の進展と強化を目的に4月名古屋国際会議場で開催。国内外から約160名が来場。



豊田少年少女発明クラブへの協力

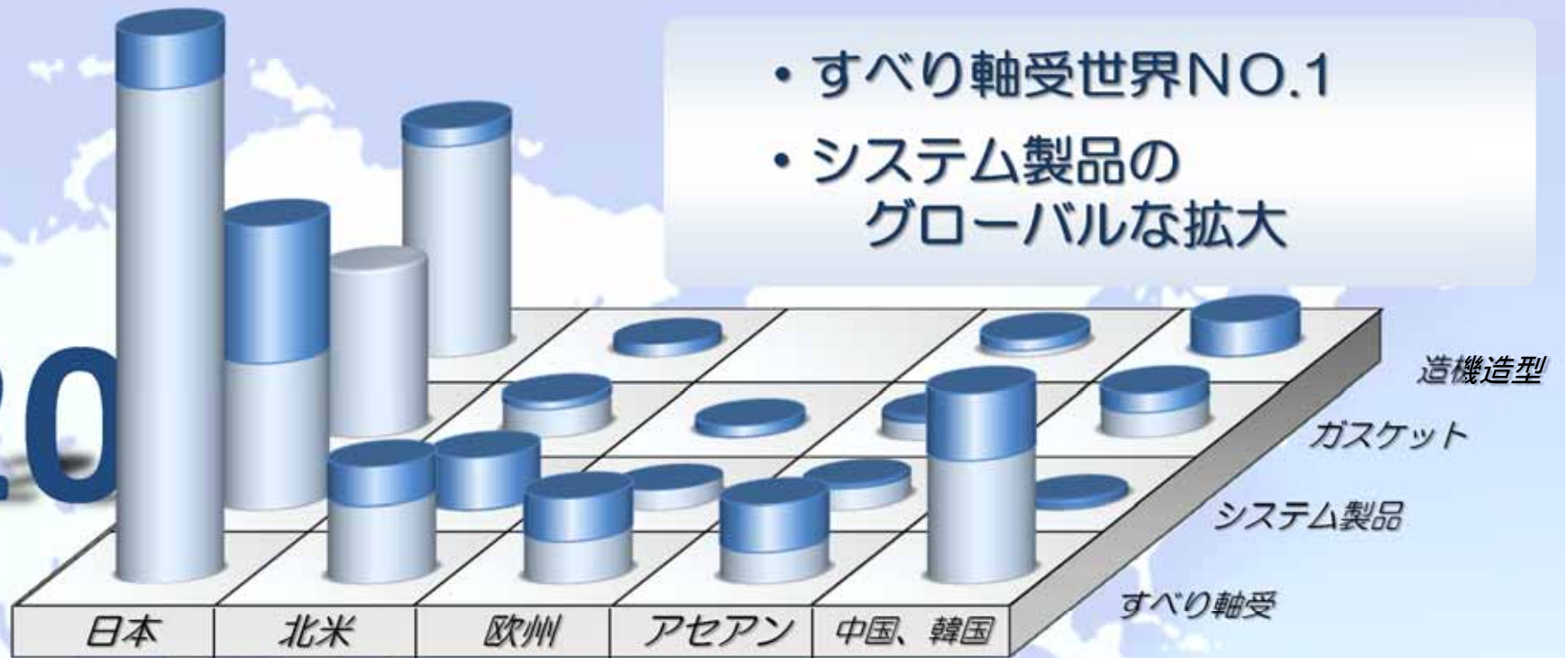
1981年のクラブ設立以来、指導員に社員が参加し青少年育成に貢献
また当社施設を改装し、4月から豊田少年少女発明クラブ4番目の教室を提供



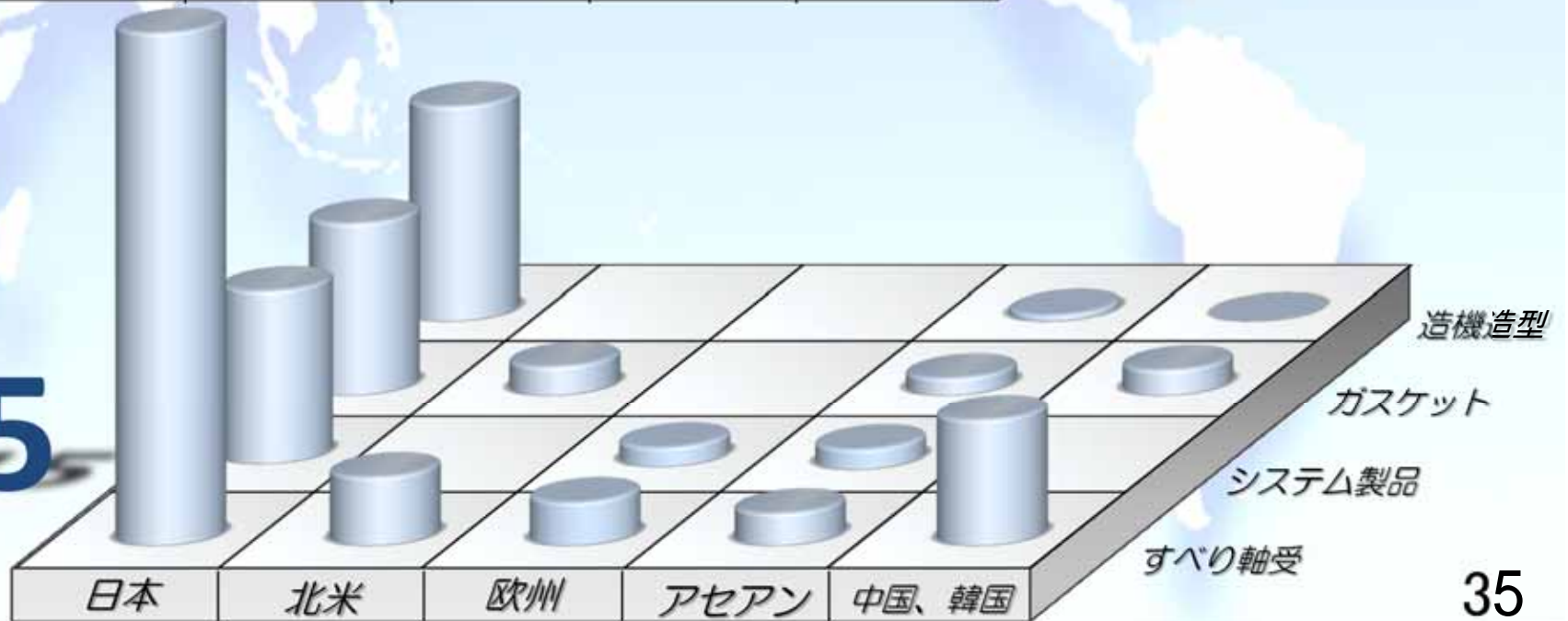
新製品をグローバルなお客様にお届けし、売上拡大を目指す

2020

- すべり軸受世界NO.1
- システム製品のグローバルな拡大



2015





中期経営方針 2016-2018年度

ゆるぎない 「信頼と技術」で グローバルに躍進

- 技術・品質・原価の徹底追求により、世界トップの競争力を持つ企業となる。
- 人財・組織づくりとリソースの最大活用により、グローバル基盤を更に強化する。

TAIHO